

# 将来的な取組みのあり方に向けた 今後の議論の方向性について

---

# (1) 明日香村の将来像

## 守られるべき明日香村の歴史的風土

明日香村の歴史的風土は歴史的文化的遺産と自然的人文的環境が一体を成して形成している総体であり、地中に眠る潜在的な遺産により今後その価値が一層高まり得るものである。

### 課題認識

#### 歴史的風土として守るべき対象を改めて認識することが必要

- 歴史的風土を構成する資産や環境、保存すべき対象、価値を高めるものとして認識を深めるべき要素など。



### 明日香村の将来像

- 明日香村の歴史的風土とは、村の全域にわたり数多く存在する歴史的文化的遺産及びこれらと周囲の自然的人文的環境が一体をなして形成している総体である。
- 明日香村の歴史的風土については、現時点で明らかにされている「見える」歴史的文化的遺産のみならず、その周囲の自然的人文的環境の中に眠る「いまは見えない」潜在的な遺産の存在により今後その価値が一層高まり得るものである。
- 明日香村の歴史的風土は、歴史的文化的遺産及びこれらと一体を成している森林、河川等の自然的環境とともに、日本の原風景ともいえる棚田等の田園景観、さらには檜前、飛鳥等をはじめとする優れた景観を有する集落等の人文的景観が歴史的風土の重要な構成要素となっている。

### 第1回小委員会の指摘事項

- 明日香村特別措置法にある「特別」の意味が何か、再度掘り下げて考える必要がある。守るべきもの、変えるべきもの、整備を進めるものを再度整理しながら前進していかなければならない。  
[3.1)①]



棚田等の自然環境



史跡等の歴史資産



集落の家並み



明日香村の歴史的風土のイメージ 1

# (1) 明日香村の将来像

## 明日香村の価値の捉え方(1/2)

明日香村の価値について、国民共有の財産であり日本人の精神的な拠り所として再認識するとともに、世界との交流の文化が価値をつくり出していることを踏まえ、国際的な視点からその価値を証明し、世界遺産登録を目指して取り組むことが必要。

### 課題認識

#### 明日香村の歴史的価値の証明が必要

- 国家的見地からの価値認識に加え、国際的な視点から世界との交流の文化を持つ明日香村の歴史的価値の証明など。

#### 第1回小委員会の指摘事項

- 国家形成の地であること以外に世界でどのような普遍的価値を有するかが世界遺産登録に関する大きな課題であり、ユネスコメンバーの理解が得られていない。日本人のアイデンティティとしての特別な地であるという認識を深めるとともに、外国人の目線で明日香村の価値を明らかにする作業が必要ではないか。[3.2)①]

### 明日香村の将来像

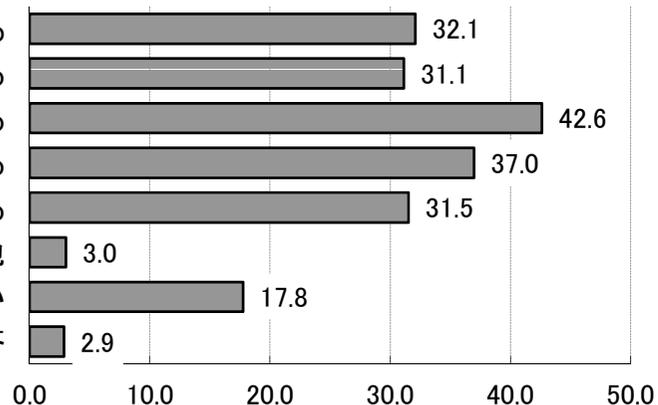
- 国家的見地から国民共有の財産であり日本人の精神的な拠り所である明日香村が、日本人のこころのふるさととして特別な地であると改めて認識することが必要。
- 東アジアの混沌とした歴史的時代背景の中で、世界との交流の文化を持つ明日香村ならではのストーリーが歴史的風土の価値をつくり出していることを踏まえ、国際的な視点から明日香村の普遍的価値を証明し、世界遺産登録を目指して取り組みを進めることが必要。

文化財保存だけでなく、教育・福祉・環境などへの財政面や施策面で波及効果がある  
 住民の保存に対する意識が高揚し、より一層の効果的な保存につながる  
 世界で価値が認められることにより、村民の村への誇りと愛着が高まる  
 観光客の増加に伴い地元経済が活性化する  
 明日香村の知名度が上がり、農産物など地域産品のブランド力が高まる

その他

特に期待することはない

無回答



H25住民アンケート結果（世界遺産登録に期待すること）

# (1) 明日香村の将来像

## 明日香村の価値の捉え方(2/2)

村民が暮らす場としての視点から、四季と共生する生活と歴史資産が共存する暮らしや、土地利用規制によって生み出されてきた生活に対して、前向きに捉えて誇りや幸福感を享受できるようなビジョンを持つことが必要。

### 課題認識

#### 暮らす場としての視点から前向きなビジョンが必要

- 土地利用規制による日本古来の農村風景をポジティブに捉えた前向きなビジョンの形成など。



### 明日香村の将来像

- 村民が暮らす場としての視点から、四季と共生する生活と歴史資産が共存する貴重な歴史的風土を有する地域に誇りと自覚をもって生き生きと暮らせるビジョンを持つことが必要。
- 土地利用規制によって生み出されてきた価値を前向きに捉えた上で、歴史的な背景を持つ農業のシステムに新たな価値を認識するなど、独自の価値観で生活の幸福感を享受できる将来像を持つことが必要。

### 第1回小委員会の指摘事項

- 四季と共生する生活と歴史資産が共存していることに価値がある。そこに世界との交流の文化を加味して主張していかないといけない。[3.2)②]
- FAO(国際連合食糧農業機関)の世界農業遺産は、脈々と受け継がれてきた農業のシステムに着目した認定遺産である。建国の歴史を持った農業のシステムとしてひも解くと、新たな価値として認識できるのではないか。[3.2)③]



重要文化的景観  
「奥飛鳥の文化的景観」

# (1) 明日香村の将来像

## 明日香村の歴史的風土保存のための枠組み

歴史的風土の保存のための土地利用規制等、及び歴史的風土保存と住民生活の調和を図るための措置について、将来的な取組みの基本的方向性に係る検討が引き続き必要。

### 課題認識

#### 歴史的風土の保存のための土地利用規制等のあり方

- 貴重な明日香村の歴史的風土を良好な状態で保存するとともに後世に伝えていくことは国家的見地から極めて重要であり、歴史的風土の保存のための土地利用規制等のあり方について検討が必要。

#### 歴史的風土保存と住民生活の調和を図るための措置

- 歴史的風土の保存と住民生活の調和を図り、住民生活の安定と地域活力の向上を実現するための検討が必要。



### 明日香村の将来像

- 明日香法等に基づく歴史的風土保存のための土地利用規制について、将来的な取組みの基本的方向性も含めて検討を進めるべき。
- 歴史的風土保存と住民生活の調和を図るため措置である明日香村整備計画などについて、将来的な取組みの基本的方向性の検討を引き続き行うことが必要。

## 明日香法に基づく施策の概要

### 歴史的風土保存のための土地利用規制等

明日香村歴史的風土保存計画（国決定）

歴史的風土特別保存地区（県決定）

土地の買入れ等（古都保存法）

### 歴史的風土の保存と住民生活の調和を図るための措置

明日香村整備基本方針（国決定）

明日香村整備計画（県作成）

国の補助割合の特例

明日香村整備基金（国24億円、県6億円、村1億円）  
・運用益を村の歴史的風土保存事業等に活用

明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金  
・基金運用益の低下を踏まえ平成12年度より創設

# (1) 明日香村の将来像

## 歴史的風土を活用した明日香村の活性化

明日香村の活性化を図るため、田園や森林を維持するための産業振興と移住・定住促進を図ることによる担い手の確保、歴史的価値を表現するシナリオ、ブランディング、ストーリー作りによる体験メニュー等をトータルさせた視点に基づく取組みが必要。

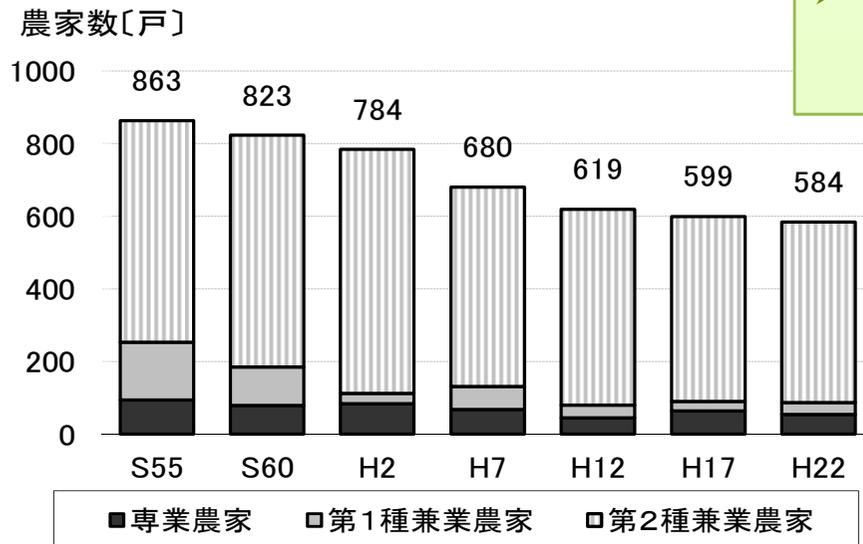
### 課題認識

#### 明日香らしさが感じられる歴史体験や定住施策が必要

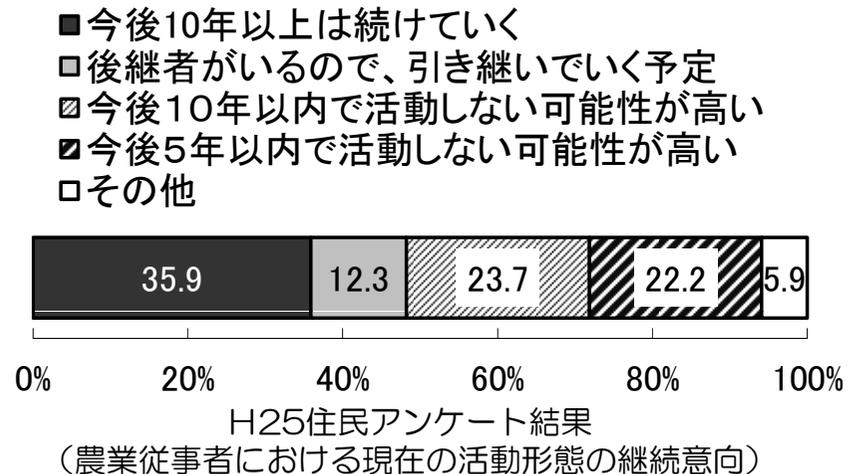
- 明日香でしかできないことを活かした定住施策による歴史的風土の保存の担い手の確保など
- 明日香ならではの体験型ツアーや歴史学習等による明日香の歴史的価値の認識向上など

### 明日香村の将来像

- 歴史的風土の創造的活用により、農業や観光業をはじめとする地域産業の振興を図るとともに、移住・定住の促進に向けて次世代の担い手が暮らしやすい環境をつくることを通じて、歴史的風土の維持保全に必要な担い手を確保することが必要。
- 歴史的風土を構成する田園や森林を将来に渡って維持していくために、農林業の振興を図ることが必要。
- 日本の東アジアの原点であるなど明日香村全体の歴史的価値を表現するシナリオ、ブランディング、ストーリーづくりが必要で、歴史・歴史物・体験をトータルさせた視点に基づく取組みが必要。



農家数の推移



# (1) 明日香村の将来像

## 地域住民及び国民の理解協力・積極的な関与

地域住民が明日香村に誇りを持ち、担い手として前面に立つためには、神事や祭などに対して特に若者が主体的に関与することが必要。また、世界の財産である明日香村の歴史的風土の保存に対して、国民や企業等の理解協力と積極的な関与を求めることも必要。

### 課題認識

**村民が大事にするものを活かし、村民や国民が関わりたいと思える仕組みが必要**

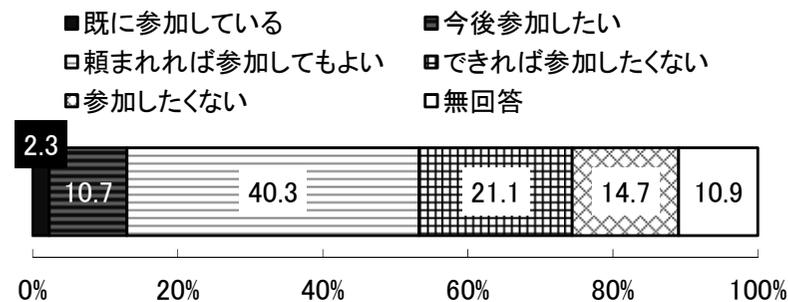
- 神事や祭りなど村民が大事にする生き方や活動等に対し、若者や国民が理解を示し主体的に関与できる仕組みなど。

### 第1回小委員会の指摘事項

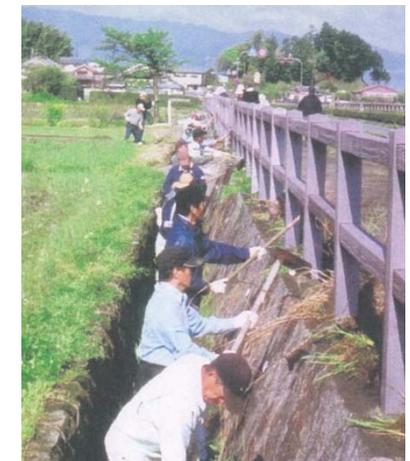
- 村民が村の保全や発展に対して誇りを持つことは非常に重要。若者の村づくりへの住民参加が誇りを醸成する段階まで行き着いていないのではないか。[3.3)①]
- 村民の明日香法に対する規制感や観光に対する拒否反応はいまだに払拭されていない。世界遺産に対しても盛り上がり欠ける。これまで手厚い保護を受けてきたために、村民が担い手となって前面にくる部分が少ない。[3.3)②]
- 国庫を使って保存するからには、日本だけでなく世界の財産であることを、より広く理解してもらうことが必要。[2.1)②]

### 明日香村の将来像

- 地域住民が明日香村の保全や発展に対して誇りを持ち、明日香村の担い手として前面に立つためには、神事や祭りなど明日香村民が大事にする生き方や活動等に対して、特に若者が理解協力を示し、主体的に関与することが必要。
- 明日香村は日本だけでなく世界の財産であるため、国民負担のあり方を検討しつつ、明日香法による歴史的風土の保存とその効果に対して、広く国民や企業等の理解協力を促し、積極的な関与を求めることが必要。



H25住民アンケート結果  
(河川や森林などの自然環境の保全活動への参加状況)



地縁活動（美化活動）

## (2) 将来的な取組みの基本的方向性

### 歴史的文化的遺産の保存と活用

飛鳥宮跡中心部の整備は、現地でスケール感を体感できるように引き続き検討を進めるべき。また、高松塚古墳壁画については、修理後の当分の間は古墳の外の適切な場所において保存管理・公開を行うことが適切とされており、今後引き続き検討を進めるべき。

#### 現計画の課題

- 飛鳥宮跡中心部(飛鳥浄御原宮正殿等)における整備に向けた検討。
- 高松塚古墳壁画の今後の保存管理・公開に関する検討。

#### 将来的な取組みの基本的方向性

- 飛鳥宮跡中心部については、現地でスケール感を体感できる歴史展示の実現に向け、引き続き、整備に向けた検討を進めるべき。
- 高松塚古墳壁画については、文化庁の「古墳壁画の保存活用に関する検討会」において、環境を制御しながら安全に壁画・石室の保存管理ができるよう、修理後の当分の間は、古墳の外の適切な場所において保存管理・公開を行うことが適切であると結論づけられている。なお、壁画修理後の古墳現地の扱いや、壁画・石室の当分の間の保存管理・公開の方法、場所等については、引き続き検討を行うことが必要とされており、その議論を踏まえつつ、今後検討を進めるべき。



飛鳥宮跡の復元整備イメージ



高松塚古墳壁画



古墳壁画の修理

## (2) 将来的な取組みの基本的方向性

### 歴史的風土にふさわしい景観の形成

集落景観に配慮した建築物・工作物等の修景に関しては、専門的知識を有するマスターアーキテクトの指導・助言が得られるよう検討を進めるべき。買入地の維持管理・活用に関しては、明日香村の特殊性を考慮した上で対応の方向性について検討を進めるべき。

#### 現計画の課題

- 景観と建築の知識を有する専門家による細部の調整。
- 空き家の利用促進に向けた情報収集や活用に対する啓発。
- 広範囲に点在する古都買入地における、歴史的風土に相応しい適正な管理活用。

#### 将来的な取組みの基本的方向性

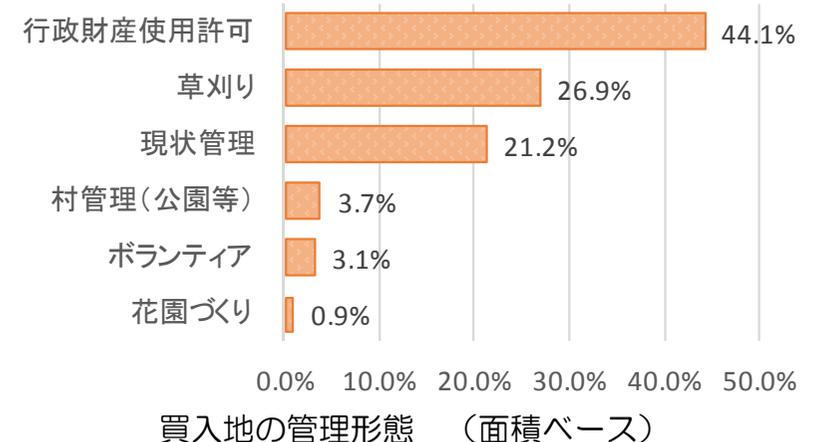
- 集落景観に配慮した建築物・工作物等の修景に関し、地域資源による建築資材や古材の活用を含め、専門的知識を有するマスターアーキテクト等が指導・助言することにより景観形成を推進するよう検討を進めるべき。
- 買入地の維持管理および活用に関しては、古都全般に関わる問題として総合的に検討を進めつつ、全村が特別保存地区であるという明日香村の特殊性を考慮した上で今後の対応の方向性について検討を進めるべき。



建築物等の修景（自然石の石積み、塀）



#### 古都保存法買入地 約63ha (H26.3現在)



## (2) 将来的な取組みの基本的方向性

### 地域産業振興による地域活力の向上(1/2)

都市住民との交流を国際展開し、さらなる農業や観光の振興を図るとともに、住民自身が自信や誇りが持てるよう検討を進めるべき。効果的な情報発信と広域連携の推進を通じて、遠方からの来訪を呼び込み、明日香村ならではの宿泊施設を提供できるよう検討を進めるべき。

#### 現計画の課題

- 農業の6次産業化の継続・発展。
- 都市住民との交流型農業の推進。
- 幅広い年齢層や外国人に対するきめ細やかな対応。
- 宿泊観光の推進。

#### 第1回小委員会の指摘事項

- 観光に重要なコミュニケーションの仕掛けをどう作っていくかが大事。ガイドは人によって解説が多様なので、その楽しさからリピートする人がいる。[1.④]
- 住民は来訪者に褒めてもらうことが何よりの力になる。観光は重要な産業であると同時に、村民を育てるための装置としても非常に大事ではないか。[3.5)①]
- 遠い、変わらない、見るもの・買うもの・食べるものがない、夏と冬は厳しいというマイナスキャンペーンを払拭しないといけない。また、周辺市町村と広域的な観光システムを考えていかなければならない。[3.5)②]
- 奈良や飛鳥のものは東京で大変な人気がある。しかし、それが来訪に結び付いていないのではないか。あるいはもっと大勢に知ってもらう作業が足りないのではないか。遠方の人たちが関わるすることができる仕組みがあるといい。[3.5)③]

#### 将来的な取組みの基本的方向性

- 農業体験や民泊、教育旅行の受入れ、観光ガイドなどの都市住民との交流を国際展開し、住民自身が明日香村で生活する自信や村に対する誇りを持つことができるよう検討を進めるべき。
- 様々な媒体を活用した効果的な情報発信と周辺市町村との広域連携により、明日香村を訪問するための価値を創出するとともに、明日香村との関わりをつくることで遠方からの来訪を呼び込み、明日香村ならではの宿泊施設が提供できるよう検討を進めるべき。



海外からの教育旅行



教育旅行の受入れ（農家民泊）

## (2) 将来的な取組みの基本的方向性

### 地域産業振興による地域活力の向上(2/2)

公共交通基盤の整備の課題に対し、バスの利用を促すためのデザインの工夫やガイドなど観光機能の付加などの検討を進めるべき。また、観光に関する戦略や組織体制のあり方について検討を進めるべき。

#### 現計画の課題

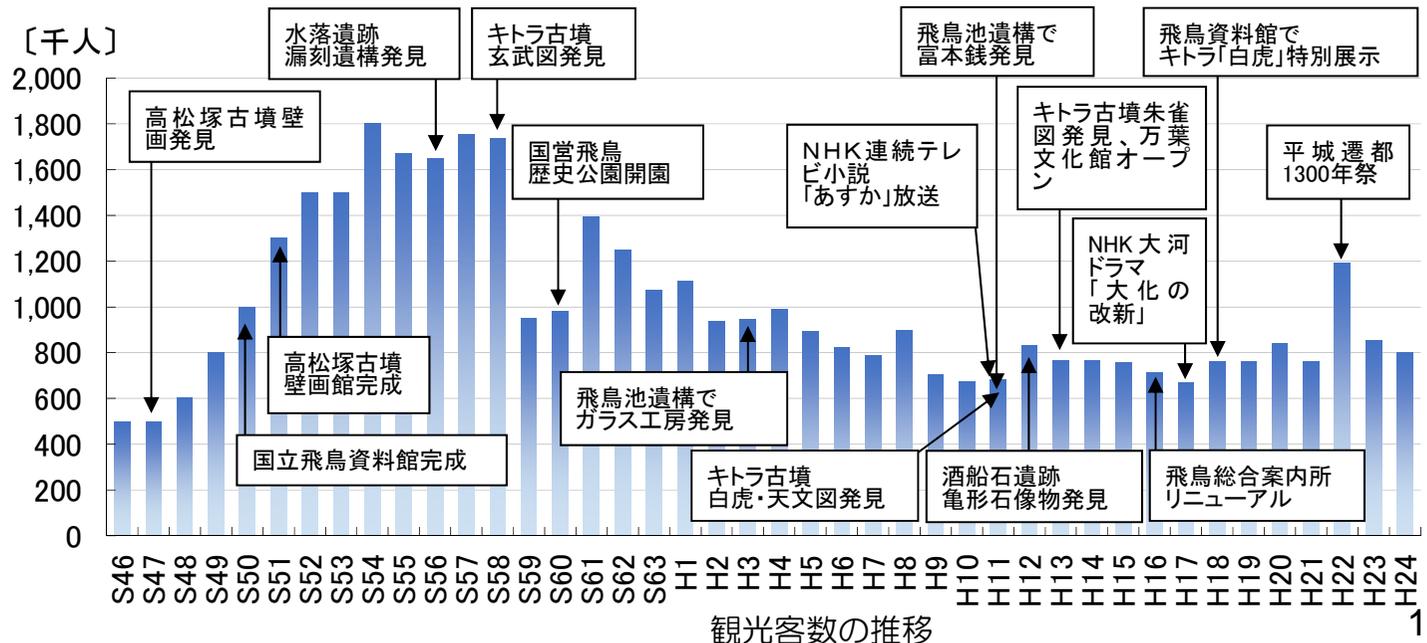
- 公共交通基盤の整備。
- 来訪者の新たな行動様式に応じた実態把握。

#### 第1回小委員会の指摘事項

- かめバスはデザインが悪い。乗ってみたいデザインや、特徴的なガイドなどの仕掛けがほしい。それに加えてバーチャル体験のような深い観光につながる仕掛けがあると、明日香の観光がもう少しよくなる。[3.5]④
- 観光に対して庁内体制を整えつつ、外部の専門家との連携を図りながら取り組みを強化していくことが大事。[3.5]⑤

#### 将来的な取組みの基本的方向性

- 公共交通システムの見直しにあたり、周遊バスや循環バスの利用を促すために、車体デザインの工夫やガイドの配置などをはじめ、バーチャル体験などの観光機能の付加などについて検討を進めるべき。
- 目標とする来訪者数や各種イベントの共通する目的など、観光に関する戦略を検討し、推進するための組織体制のあり方について検討を進めるべき。



## (2) 将来的な取組みの基本的方向性

### 歴史的風土を支える担い手の育成と確保(1/2)

将来の担い手である子どもたちには地域学を推進し、誇りや愛着を育むことで長期的に村を担ってもらうという視点で検討を進めるべき。また、明日香村ならではの住まい方を発信し、新住民と集落コミュニティとの接点の置き方を工夫するなど、魅力的な村づくりの検討を進めるべき。

#### 現計画の課題

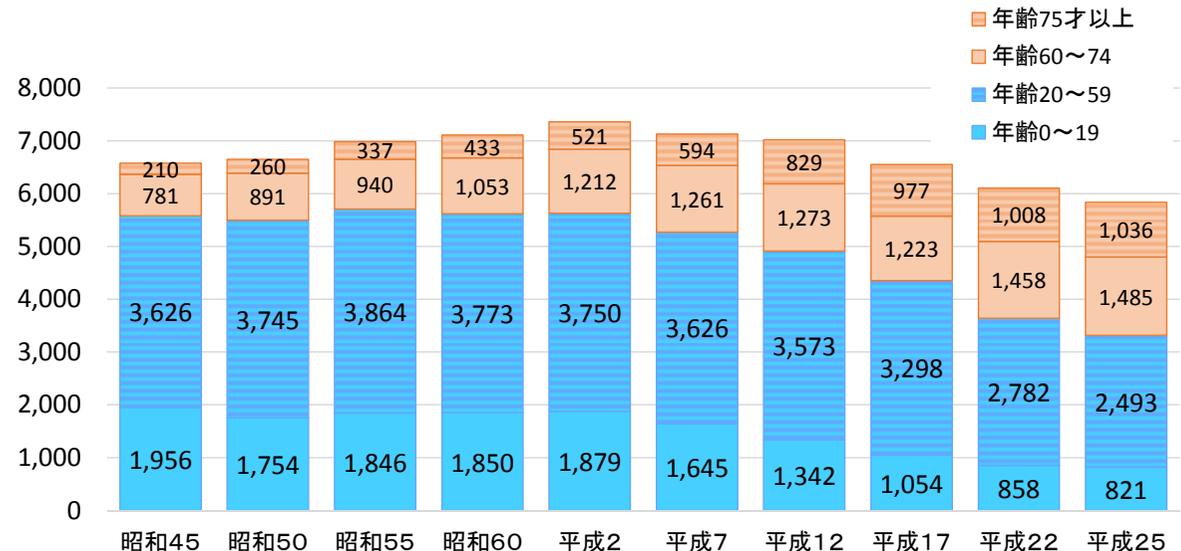
- 定住人口の確保。
- 若者の人口流出の増大に対し、子どもを産みやすく育てやすい環境づくり。
- 明日香村の魅力を活かした新しいライフスタイルの提供。

#### 将来的な取組みの基本的方向性

- 子どもたちに対する地域学の推進が住民としての誇りや愛着を育て、長期的には将来の担い手の確保につながるという視点で今後検討を進めるべき。
- 明日香ならではの住まい方の提案を外部に向けて発信するとともに、新たな住民に配慮した集落コミュニティとの接点の置き方に対する工夫など、魅力的な村づくりの検討を進めるべき。

#### 第1回小委員会の指摘事項

- 小中学生に対する地域学が誇りを育て、観光客に対してガイド経験を積むことで人間関係調整能力を養っている。そうして将来的には村に帰ってきてもらうという長期的な視点がある。[2.4)②]
- 「京」や「宮廷」があったことは海外に向けた発信にも利用できる。明日香に暮らさないと享受できないもの、明日香であるからこそアピールできる価値を外部に対して発信すべき。[3.6)①]
- 観光と農業だけでなく新しいターゲットや人を入れることで、UターンやIターンを呼び込める。そのとき、新しく住む人が集落のコミュニティに最初は属さなくても暮らすことができるといい。[3.6)②]



年齢階層別の人口推移

## (2) 将来的な取組みの基本的方向性

### 歴史的風土を支える担い手の育成と確保(2/2)

集落の生活の形を維持するための空き家の有効活用と、新たな住宅ニーズに対応した若者への住まいの提供など、歴史的風土の担い手を確保するための検討を進めるべき。また、若者に長く住み続けてもらうために、将来に展望が持てるような新たな産業育成などの検討を進めるべき。

#### 現計画の課題

- 定住人口の確保のための空き家の有効活用。
- 新規就農や観光産業への従事などと連携した住まいの提供など、歴史的風土の担い手の確保

#### 第1回小委員会の指摘事項

- 観光産業は外部環境に左右されるところがあるため不安定な部分がある。村全体をミュージアムにする考え方で進められているが、観光だけで生活をしていくことは難しいと思われる。[3.6)③]
- 団塊ジュニアの転出が多く、建物を建てにくいことと、地縁活動に対する負担感が要因に挙げられる。村外は規制もなく暮らしやすい環境があるが、家族は近隣都市に住んでいて、すぐ会える関係にある。一方で子供の教育支援策が奏功し、子育て世代が戻ってきている。[3.6)④]
- 若者が転出するのは、将来に対する展望ができないからではないか。若者が明日香村で生活する基盤をどう作るかが課題。外部からの転入や村外者の活動参加も1つだが、地元で育った人が住み続けてもらうのが一番である。[3.6)⑤]
- 観光と農業だけでなく新しいターゲットや人を入れることで、ターンやUターンを呼び込める。[3.6)②]

#### 将来的な取組みの基本的方向性

- 集落における生活の形を維持していくため空き家の有効活用を図るとともに、新たな住宅ニーズに対応した若者への住まいの提供や定住促進策など、歴史的風土の担い手を確保するための検討を進めるべき。
- 若者の転出を引き留め、さらには転入を呼び込み、将来にわたって長く住み続けてもらうために、生活が成り立ち将来に対する展望が持てるよう、観光と農業に加え、新たな分野の産業育成など、生活の基盤や基軸についての検討を進めるべき。



都市計画法第34条11号区域に建つ新築住宅

## (2) 将来的な取組みの基本的方向性

### 歴史的風土と調和した生活環境基盤の整備

これまで整備された生活基盤施設の老朽化に対する評価と更新の検討に合わせ、人口減少社会における公共インフラ供給のあり方について検討を進めるべき。また、情報社会に適応した通信に関する基盤整備について、周遊観光との関係からも検討を進めるべき。

#### 現計画の課題

- 生活環境基盤施設の老朽化に対するストックの再評価と更新、人口減少社会における公共インフラのあり方。
- 周遊観光等の観点から情報通信基盤の整備についての検討。

#### 将来的な取組みの基本的方向性

- これまで整備されてきた生活環境基盤施設の老朽化に対するストックの再評価と更新を検討するのに合わせて、人口減少社会における歴史的風土と調和した公共インフラ供給のあり方について検討を進めるべき。
- スマートフォンやタブレットなどを想定したバーチャル体験の展開や周遊観光に関する情報の受発信がより快適に行えるよう、情報通信の基盤整備を含めた生活環境基盤整備の検討を進めるべき。



小学校の整備



ごみ処理施設の整備



docomo wi-fi サービスエリア  
 ( [http://sasp.mapion.co.jp/b/docomo\\_wifi/](http://sasp.mapion.co.jp/b/docomo_wifi/) )